



田んぼの近くで、オニヤンマがヤゴから孵化した所を見つけました。最近ではめったに見ることが出来ません

エースファーム

| | |
|-------|----------------|
| オーナー | 株式会社エース |
| 水田面積 | 15.5アール（約469坪） |
| 保証量 | 玄米698kg |
| 形態・品種 | 特別栽培コシヒカリ |
| ブランド | 米風土「海」 |
| Co2回収 | 約1550kg |

生産者



梅雨に入りやや気温も低く稲の成長が遅いように思います。6月2日に除草剤を散布しましたが今年はひえが少なく安心しています。この調子で行けば基準以下の農薬使用量で済みそうです。昨年より一週間ほど遅れて6月29日から中干しに入りました。中干しを行うことで無駄な分けつを抑え、遅れた稲穂が出ないようにし、一粒一粒に養分を行き渡せる事が出来ます。そのため重要な管理の一つです。現在は周辺の草刈り作業に追われています。梅雨明けが待ち遠しいです。

高橋 秀紀

6月の作業内容

1. 草刈り

この時期の草刈りはほぼ毎日行います。雑草は害虫を発生させ日当たりも悪くするため稲が病気になる原因にもなります。草刈りを怠るとお米の出来にも大きく左右されるので非常に重要です。



草刈り

2. 除草剤散布

私どもの地域全体でできる限り除草剤を使わないように努力しています。今年は草の生えている箇所だけに限定して使うなど、手作業でやれるところは極力薬に頼らず草を取っています。



除草剤散布

3. 草寄せ

刈った草をそのまま田んぼの畦に放置しておくとなら腐って畦が柔らかくなります。ミミズも繁殖しそれを食べるモグラが柔らかくなった畦に穴をあけると崩れる原因にもなるため何か所に集めておきます。



草寄せ

4. 草焼き

集めた草を秋の土づくりの時に肥料にしない場合、このように焼いて草が腐ってしまうことを防ぎます。また草を肥料にする場合は焼かずに毎年場所を少しずつ変えて保管しておきます。



草焼き